

がつ じゅうてんこんだて
【7月の重点献立】

たなばたこんだて
七夕献立

れいわ ねん がつ
令和7年7月

いちのせきしせいぶだいにがっこうきゅうしよく
一関市西部第二学校 給食センター



がつなのか たなばた きゅうしよく ほし さが たの た
7月7日は七夕です。給食にも、いろいろな星をちりばめました。探しながら楽しく食べましょう。

たなばた はなし
七夕のお話

むかし かみさま むすめ おりひめ わかもの ひこぼし
昔あるところに、神様の娘の織姫と、若者の彦星がいま
おりひめ はたお しごと はたら もの ひこぼし うし
した。織姫は機織りの仕事をしていて働き者。彦星は牛の
せわ 世話をしているしっかり者でした。やがてふたり けっこん
た。すると、今まで はたら もの ふたり きゅう あそ く
うになり、全くと働かなくなっていました。

おこ かみさま ふたり あいだ あま がわ つく はな
怒った神様は、2人の間に天の川を作って離してしまいま
した。悲しみにくれたふたり な つづ み かみさま
は、前のようにまじめに はたら ねん ど ふたり あ
わせてくれると約束しました。

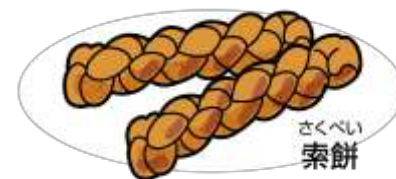
ふたり こころ い か いっしょうけんめいはたら
それから2人は心を入れ替えて一生懸命働くようになったのです。

たなばた はなし しょせつ
※七夕のお話には諸説あります。

たなばた
七夕とそうめん

たなばた た れきし せんねん まえ
七夕によく食べられるそうめんの歴史は、千年も前からと
ひじょう ふる ちゅうごく つた さくべい こむぎこ
非常に古く、中国から伝わった「索餅」といわれる小麦粉を
ね なわ かたち か し げんけい
練って縄の形にしたお菓子が原型といわれています。

こだい ちゅうごく がつなのか さくべい た ねんかんむびょう
古代中国には、「7月7日に索餅を食べると、1年間無病
そくさい す でんせつ ならじだい さくべい
息災で過ごせる」という伝説があり、奈良時代に索餅が
にほん つた きゅうちゅうぎょうじ と い
日本へ伝えられると、宮中行事に取り入れられ、やがて
いっばん ひろ
一般にも広がっていきました。



さくべい
索餅